



ローリー出荷用ローディングアーム
スイングジョイント取扱説明書

‘U’ ジョイント

油機工業株式会社

スイングジョイント取扱説明書

‘U’ ジョイント (U-014 ~ U-020)

1. 特長

- 1) シンプルな両面シール方式の軽荷重用スイングジョイントです。
- 2) ネジによりパッキンの締め付け力の調整ができる構造になっています。パッキンの摩耗など締め付け力の低下による漏洩が起きても調整が容易に行うことができます。
- 3) パッキンの材質は取り扱う流体に応じて選定できます。

2. 構造

- 1) シャットオフバルブに取り付けられた‘U’ジョイントの構造及び部品構成について「付図：U-1」に示します。
- 2) ‘U’ジョイントはエルボ、ストレートボディー等各種ジョイント部品との組み合わせが可能です。

3. パッキンの調整

長期間の使用によりスイングジョイントに漏洩が発生した場合、以下の手順によりパッキンの締め付けの調整を行ってください。

- 1) ジョイントカバー④のセットスクリュー⑩をゆるめます。
- 2) ジョイントカバー④を回しパッキン⑥を締め付けます。この時、締め付け過ぎるとスイングジョイントの回転が重くなります。
- 3) 漏洩が止まったことを確認します。
- 4) 漏洩が止まった場合にはセットスクリュー⑩を締めて下さい。

4. パッキンの交換

前項の調整で漏洩が止まらない場合には以下の手順に従いパッキン交換を行います。

- 1) ジョイントカバー④のセットスクリュー⑩をゆるめます。
- 2) ジョイントカバー④を回して(約10～12回)ゆるめ、バルブボディー②を外します。
- 3) ジョイントカバー④に組み込まれているパッキン⑥、パッキングバックリング⑦及びパッキングシェーブ⑤を一緒に取り出します。
- 4) 取り出したパッキングバックリング⑦、パッキングシェーブ⑤をウェスなどできれいにそうじして下さい。外観を確認し、特に顕著な摩耗や異常が認められなければ、そのまま再利用できます。
- 5) パッキン⑥は新品に交換します。(パッキングシェーブ⑤、パッキングバックリング⑦)

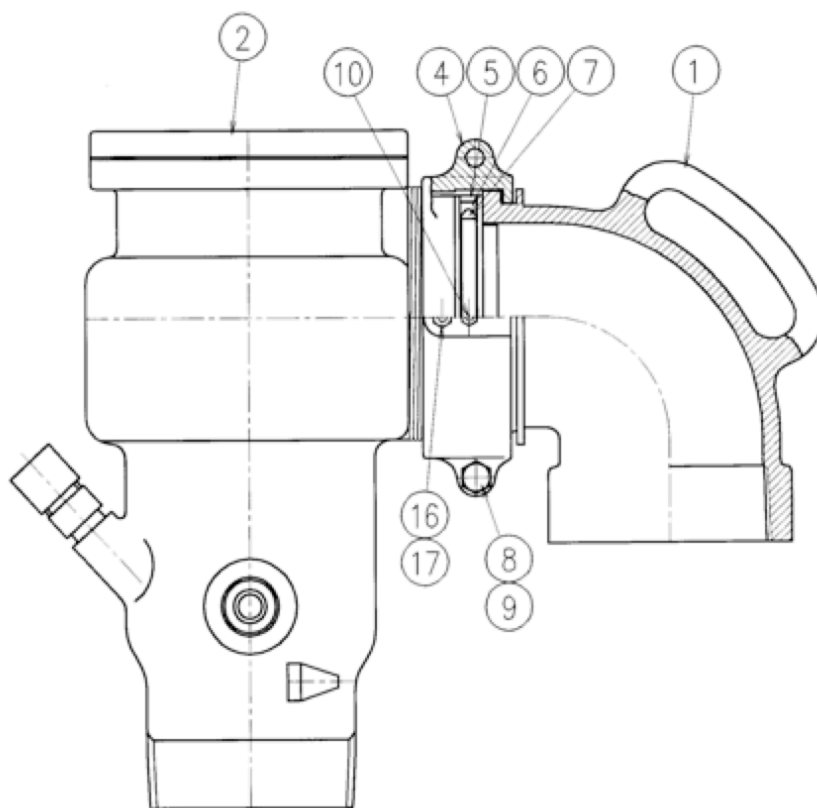
の取替が必要な場合には交換して下さい。)

- 6) ジョイントのシール面を良く洗浄します。
- 7) パッキン⑥、パッキングバックグ⑦、パッキングシェーブ⑤をジョイントカバー④の中に挿入します。
- 8) バルブボディ②をジョイントカバー④に組み込みます。
- 9) パッキン⑥が締め付けられたら適当な位置でセットスクリュー⑩を締め付けます。
- 10) 漏洩の有無を確認して下さい。
- 11) 漏洩がある場合には、前述の3 1)～4)の手順で調整を行います。
- 12) 調整が完了したら、グリースの充填を行います。

注記! ‘U’ ジョイントはジョイントピースの組み合わせにより各種の組み合わせがありますが、シール部分の構造は共通になっています。従い、同一の要領でジョイントの整備が可能です。

5. グリース給油

‘U’ ジョイントは定期的（月に1回程度）にグリースアップを行って下さい。



- ① ボディーA
- ② シャットオフバルブボディー
- ④ ジョイントカバー
- ⑤ パッキングシェーブ
- ⑥ パッキン
- ⑦ パッキンバックング
- ⑧⑨ ボルト・ナット
- ⑩ グリースニップル
- ⑬⑭ セットスクリュー・ナット

付図： U-1（‘U’ ジョイント）